

## 5 松江のこれから

### 市民と共につくる

#### ◎ヒト・モノ・コトを結ぶ

<まちづくり>  
代々受け継がれた道具を引き継いでいく場を、まちのあらゆるところに作り出す

<建築>  
まちなかでつながり まちなかを楽しむ

<製造業>  
周辺エリアとつながり、その魅力をまちなかで再発見

<建築>  
学生がまちなかにつながるきっかけをつくる

#### ◎やってみたくて寄り添う

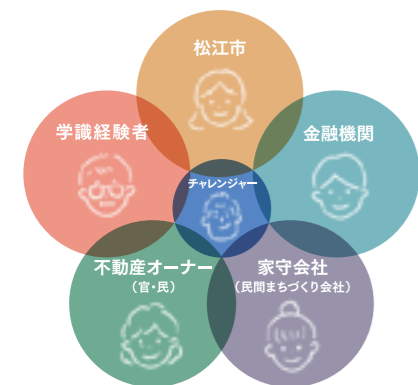
<教育>  
「空き家を攻める」ことでチャレンジの連鎖を生む

<金融>  
ガイドラインに沿って長期伴走型の金融支援を

<不動産>  
松江を動かす強烈な願望を一人一人に育む



### 松江市のチャレンジ

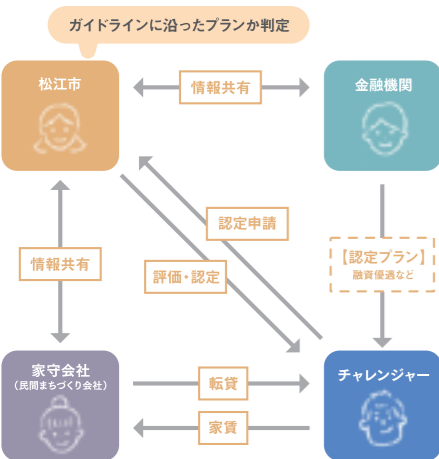


#### ◎リノベーションまちづくり推進ネットワーク

関係機関がガイドラインとまちのビジョンを共有した上、空き家・空き店舗、チャレンジャーからの相談等の情報を定期的に共有できるネットワークを構築することで、つながりを強化し、リノベーションまちづくりを推進していきます。併せて、都市政策課が窓口となって、商店街振興・創業支援・空き家対策など関係部局との連携を強化します。

#### ◎金融機関連携

松江市が目指すまちづくりに沿ったプランを認定すると共に、金融機関等との連携を図り、チャレンジャーが起業しやすく、事業を継続できる支援体制の構築を目指します。



日常薫るまつえまち  
未来に広がる静かな脈動

## 6 家守会社設立のススメ



大島 芳彦  
建築家/クリエイティブディレクター

ガイドライン  
検討委員長  
からの  
メッセージ

民間・行政  
不動産オーナー  
遊休不動産  
遊休化した公共施設  
道路・公園

ビジネスオーナー・  
プレーヤー  
まちの新しい  
コンテンツ

この2つをつなぐ役割  
民間自立型まちづくり会社  
**家守会社**  
エリアマネジメント/  
リノベーションディベロッパー

戦略的都市政策のもと、  
公共の一翼を担う、  
民間主導の「家守会社」の  
設立・育成が必要

#### ◎全国の家守会社の事例



大隈家守会(鹿児島県鹿屋市)



まるにわ(鳥取県鳥取市)

#### <メッセージ>

●チャレンジしたい・応援したいみなさんへ  
松江のまちを愛し、一緒に楽しみ、考え、行動したい人!!  
本ガイドラインがチャレンジを始めるきっかけ・ヒントになればと思います。  
興味・関心のある方は松江市都市政策課へご連絡ください。  
委員の皆様へもお繋ぎします。ぜひ一緒に松江のまちをつくりましょう!

●不動産オーナーのみなさんへ  
お持ちの使われていない不動産を「まち」のために活かしてみませんか?  
現在、松江市では、まちづくりに対する熱い思いをもった若者たちによって  
眠っている空き家・空き店舗に「新たないのち」が吹き込まれ、  
まちに変化が起こりはじめています!ぜひ、あなたの力をかしてください。

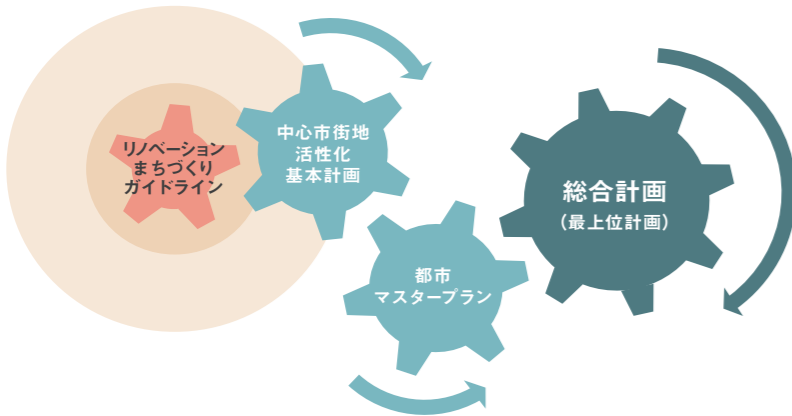
まっえまちなかみちるべ

## 1 ガイドラインの位置づけ

「松江市リノベーションまちづくりガイドライン」とは...

「中心市街地活性化基本計画」に掲げる  
歴史・文化・水辺を活かす、  
若者が活躍する松江のまちなか  
を実現するための具体的な戦略

本ガイドラインは「中心市街地活性化基本計画」を実行するための具体的な戦略となります。「中心市街地活性化基本計画」は本市の最上位計画にあたる総合計画、そして都市マスタープラン、これら上位の2つの計画を動かしていくための計画です。



リノベーションまちづくりとは

まちの潜在資源を活用して  
都市・地域の経営課題を解決する  
まちづくり手法の一つ

「民」主導でまちにさまざまなコンテンツを創出し、それを行政でサポートしていくことによりまちの価値を向上させる。今回、この「リノベーションまちづくり」の取組みが確固たる官民連携のまちづくりとして進んでいくように思いを込め、「みちるべ」としてのガイドラインを策定します。

◎リノベーションまちづくりの3つのキーワード

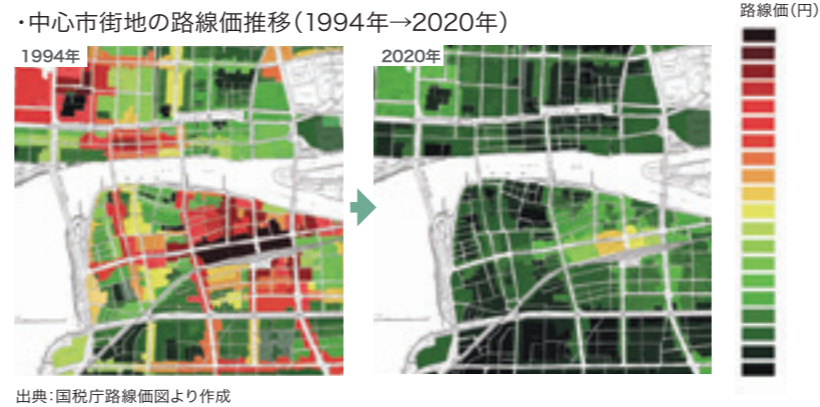
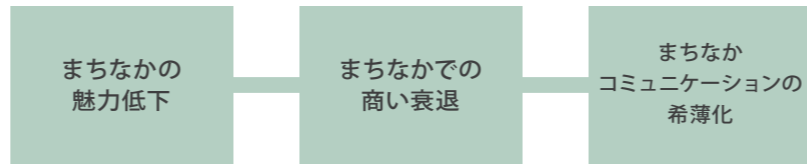
- ① あるものを活かす
- ② 小さな点を打ち波及を生む
- ③ 民間主導の民間主導の公民連携

◎松江におけるリノベーションまちづくり系譜



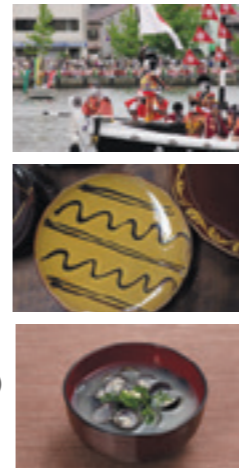
## 2 松江の現状

データにみる松江の課題



史実にみる「松江らしさ」

- ◎脈々と受け継ぐ  
大きな開発が無く城下町の町割りが残る地と水の道脈(みちすじ)が重なるまち  
神々と繋がる精神性(ホーランエンヤ・藝行列等)
- ◎新しいものを取り入れる  
異なる文化を日常的に受け入れる松江の文化(小泉八雲、バーナード・リーチ)  
プログラミング言語「Ruby」と産業振興
- ◎日常として楽しむ  
日常で習慣化された茶の湯文化(和菓子がおやつ)  
地元の生産物を地元で楽しむ  
(ヤマトシジミ産地/シジミ消費量日本一)



## 3 まちの見立て

- ◎史実から見てきた松江らしさ
- ◎3テーマで委員会により読み解いた松江らしさ

3つのテーマ  
「ツーリズム」  
「水辺と公共空間」  
「なりわい」

「今でなければ」・「ここでなければ」・「あなたでなければ」  
という視点で2つをつなぎ合わせた「松江らしさ」を定義

リノベーションまちづくりの基盤となる「松江らしさ」

脈々と守り受け継ぎながらも + 新しいものを取り入れ + それを日常として楽しむ

## 4 行動指針



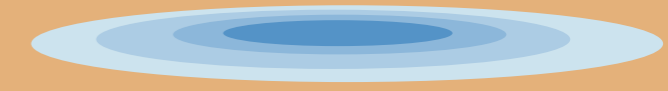
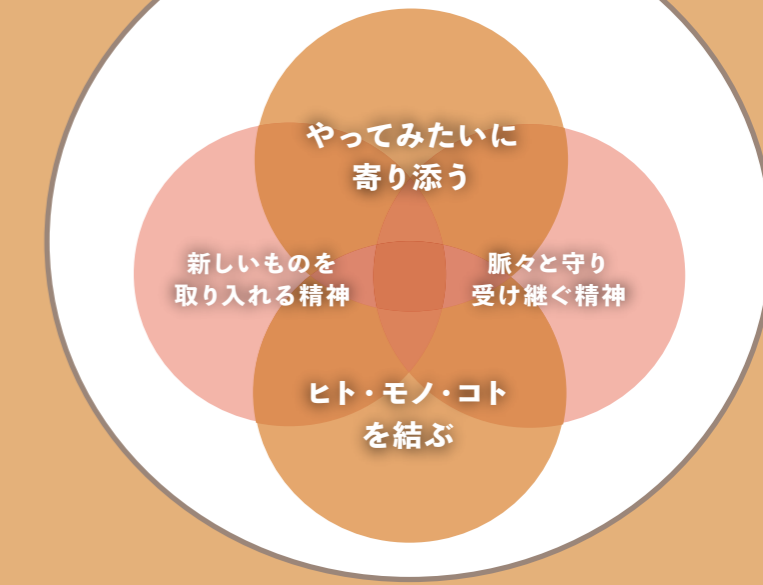
育まれてきた  
松江の精神  
・新しいものを取り入れる精神  
・脈々と受け継ぐ精神



松江の魅力を引き出し、  
まちの課題解決につながる行動



日常  
として愉しむ精神



かお  
日常 薫る まっえまち  
未来に広がる静かな脈動

「松江らしさ」を基盤に、一人ひとりの「やってみたくて」を応援し、今ある松江の魅力をあらゆる形で「結び」つける。このふたつの行動を市民みんながとることで、より一層豊かな、薫り高い日常が生み出されます。